



里のギャラリー 33

お忘れでしょうが今年の2月、本紙に「命のクルミ」という記事を書きました。そこで紹介したフォトジャーナリストの森住卓さん、あいからわずアフガンやパキスタン、四川大地震、沖縄など、世界中をまわっているようです。久しぶりにやりとりしたメールを転載します。何気ない一言に命がけの生々しさが垣間見えます。

## カネでは代えられないもの、買えないもの

鈴木さま

あと少しで師走になってしまいますね。いかがお過ごしでしょうか？  
 少し相談です。

私の友人がタイの貧農を支援するプロジェクトをやっています。大豆を栽培して豆腐を作りたいと言っているのですが、彼は有機栽培の大豆を欲しいと言っています。有機栽培の大豆の種と他の大豆の種とは違いがありますか？

もし、手に入ったら送っていただけませんか？  
 高温多湿多雨のタイで育つのかどうか、とにかくやってみなければ納得しない人なので種を送ってくれませんか？黒豆も欲しいのですが。各1キロずつ。よろしくお願いします。(森住 卓)

おはようございます。

どっか砂漠の果てで野垂れ死にでもしてないかと、まあ心配していたわけでもありませんが、とりあえず生存しているようで何よりです(^~);

結論から言うと、ゼロ回答です。今年うちの畑、大豆はさっぱりだったと担当者(サトばあちゃん)がぼやいていて、自分とこの味噌にも足りない騒ぎをしています。白菜や菜っ葉がよくできていることから、肥料分の多さ(ケイフンのやりすぎ)が原因とみています。面目ありません。黒豆もありません。

まあ開き直りですが、ほんとうに有機栽培の作物は、いつでも手に入るというわけではないという現実の一端にふれていただく機会とさせていただきませんか。ごめんなさい。(すずき)

パキスタンとアフガンは危険なところになってしまいました。のたれ死にならいいですが、撃ち殺されなくてよかったですよ。  
 豆、残念でしたね。了解。(森住 卓)

## 田んぼの害虫とイネの底力

とある新人農家が、去年は「無農薬だ」と豪語していました。ところが今年、イネに虫がたかっていると大騒ぎ。「もちろん自己責任だけど、放っておいて大丈夫だ」と言ったの

に、殺虫剤を買ってきて散布しちゃったという右往左往。そんなNさんのために、カラー印刷です。

写真は、北茨城市内の山すその田んぼで撮ったもの。ドロオイムシ

という害虫が、6月21日の時点で、多いところではイネ1株に20~30匹もの虫がたかっています。翌週6月28日には、さらに被害はひろがって、そうとう悲惨な光景でした。

それが、7月に入るとイネの新しい葉が伸びて、緑が回復してきました。8月下旬には、写真のように穂が垂れています。11月になって、田んぼの主と「はじめまして。じつは、この夏・・・」と、話す機会がありました。聞けば、農薬は除草剤を1回だけで、殺虫剤などは散布していないそうです。よく見とけよ、Nさん。



6月28日



8月30日